



平成26年12月号 杉並区立井荻小学校

いおぎ
だより

平成26年11月28日発行 No.557

表現することの楽しさを！ — 大成功で終えた学芸会 —

副校長 小谷 恒司

紅葉の便りに秋の深まりを感じる季節となりました。2学期も残すところあとわずかとなり、あわただしい時期となりますが、しっかりとまとめをして、新しい年を迎える準備をしていきたいと思えます。

2学期には運動会等、大きな行事がありました。11月には14日（金）と15日（土）の両日におたって学芸会を開催しました。14日の児童鑑賞日には、井荻保育園の年長組の園児が鑑賞しました。15日の保護者鑑賞日には、ご来賓の皆様をはじめ多くの方々に鑑賞していただき、2日間を通じて鑑賞のために学校を訪れていただいた保護者、地域の皆様の数は、合わせて719人となりました。多くの皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。

今回の学芸会には「一人一人が強い心を持ち、みんな協力する、笑顔あふれる学芸会」とのスローガンを掲げて取り組みました。限られた時間の中での練習。なかなか思うように練習が進まない中であって、どの学年も熱心に練習に取り組みました。音楽会、展覧会、学芸会と3年毎に巡ってくる大きな行事の学芸会。今回の学芸会が井荻小学校での最後の学芸会となる4、5、6年生にとっては思い出に残る学芸会となりました。

6年生の「夢から醒めた夢」は、光の国と闇の国へ行くためのロケットを待つエアポートで主人公がいろいろな人たちと出会い、成長していく姿を演じました。どの子もやる気にあふれていて、配役を決めるのにとっても苦労したそうです。裏方も含め、「自分達で劇を作りあげる」とがんばりました。

5年生の「寿限無」は落語でおなじみのお話です。長屋に住む大工の熊さんの家に初めての赤ちゃんが誕生します。いろいろと知恵をしぼって赤ちゃんの名前を考える姿を演じました。幕間の小話も鑑賞している人たちを楽しませてくれました。

4年生の「キューソネコカミねこひげたてる」は、

ひもでつながれていたねこがある日、おふれが出て放たれ、ねずみはさあ大変。ねこが追いかけて、ねずみは逃げるというお話を演じました。ねこやねずみ役の衣装やしっぽについては、保護者の皆様にもご協力をいただきました。

3年生の「モモと時間どろぼう」は、ある日、町にやってきた時間どろぼう。平和に暮らしていた人たちを助けようと、時間どろぼうとの対決に少女モモが立ち上がる姿を演じました。

2年生の「スイミー」は、国語の教科書にも登場するお話です。マグロに襲われ一人ぼっちになってしまったスイミー。いろいろな海の生き物と出会い次第に元気を取り戻し、新しいきょうだいたちと一緒に行動する姿を元気いっぱい演じました。

1年生の「わっしょいわっしょいぶんぶんぶん」は、わっしょい王国の子どもたちが、欲張りアクマたちに国中の楽器を盗まれてしまいます。それでも子どもたちはくじけないで新しいことを考え、ついには、アクマたちをたおすという劇を楽しく演じました。

鑑賞された保護者の皆様からたくさんのご感想をいただきました。

「たくさんのお客を前に、台詞を言うのはとても緊張することでしょうが、しっかり前を見て、大きな声で演技している姿がまぶしく見えました。」「各学年の演技がとても素直で声も大きく、見ていて自然にこちらの顔も笑っていました。やさしい気持ちになりました。」この他にも多くの温かい声を寄せていただきました。子どもたちは、普段の学習では経験できない、劇の中の役になりきって台詞を言い、役を演じる難しさと楽しさを経験することが出来ました。学芸会を大成功で終え、今後も、子どもたちの限らない力を伸ばす教育実践の展開を目指して参ります。

2学期の思い出

1年 生活科「あきをたのしもう」どんぐり教室

「どんぐりノート」の作者の大滝玲子先生を招いてどんぐり工作をしました。やじろべえやコマ、車やケーキ、カレンダーやリースなど、様々な工作を楽しみました。その後は、校庭や公園でどんぐりを拾っては何か作れないかと考えを巡らせていました。



2年 生活科「やさいをそだてよう」

ピーマン、ナス、トウモロコシ、ニンジン、水菜、キュウリ、ゴーヤ、ミント、トマト、サトイモ、スイカ、メロン、カボチャ。自分たちで植え方、育て方を調べました。虫に食われたり、天候に左右されたりしたものもありましたが、育てることの大変さと楽しさを学びました。まだまだ他の野菜も育てたいと意欲満々です！



3年 社会科「郷土博物館 見学へ」

郷土博物館では、今の杉並区は昔いくつもの村に分かれていたことを地図で学びました。井荻小を探しましたが難しい！館内にある古民家では、囲炉裏での火吹き体験もでき、体全体で学んで来ました。



4年 社会科「玉川上水について」

社会科見学で、羽村市郷土博物館と立川防災館に行きました。羽村取水堰では、教科書で勉強してきたことを、実際に目で見て確かめてきました。積極的に質問もし、熱心にメモをとる子どもたち。さらに学習内容を深めることができました。学習のまとめに、「玉川上水新聞」を作成しました。



5年 「連合音楽会」

学芸会の練習と並行して、連合音楽会の練習に取り組んできました。ソプラノとアルトの響きを感じながら歌った、合唱「夢を抱いて」。最初の音をそろえることに苦労しましたが、練習を重ね、心を一つにして表現した、合奏「エル・クンパンチェロ」。杉並公会堂に美しい歌声と迫力ある演奏が響きました。



6年 「連合運動会」

秋晴れの下、近隣6校の6年生が上井草7th-ツツ-に集まりました。直線を駆け抜けた100m走。朝練を重ね、自分の記録に挑んだハードル走・中距離走・走り高跳び。そして、何度も練習と話し合いを重ね、クラスの目標を達成した長縄。努力の分だけ、大きな達成感を味わい、クラスや学年の絆を一段と深めました。



特別支援教育の取り組み

特別支援教育コーディネーター 横山 美佳

「どの子ども伸びて学び合える学校」を目指して

本校は、一昨年から「どの子ども伸びて学び合える学校を目指して」をテーマに研究を進めてきました。どの子どものびのびと自分の力を伸ばしてほしいというのは私たちの切なる願いです。そのために、生活リズムを整えること、学習習慣をつけること、認め合える学級集団を育てること、もちろん教え方を工夫することなど、様々な努力を日々積み重ねています。しかし、それだけではなく、特別な支援を必要としている子どもたちもいます。

特別支援教育はどの子どもにも必要な支援

人間にはそれぞれ得意なこと、苦手なことがあります。子どもたちの中にも、計算はすごく速いけれど、人の気持ちを考えることがとても苦手な子や、やる気はあるけれどじっと座っていることができない子がいます。そんな子どもたちに「頑張れ」「努力が足りない」といっても子どもたちはできない自分が嫌になるだけです。うまくできないで困っている子どもに、なぜできないのか、何が苦手なのかを考え、手助けしていくのが特別支援教育なのです。その子が、今、何を困っているのかを大切にしています。

周りの大人たちが子どもに寄り添い → 一緒に話し合い → 知恵を出し合う

本校では、できるだけ早く支援することで、一人ひとりの困り感が大きくなるのを防ぎ、早くみんなと一緒に学習に参加できるようにしたいというのが基本方針です。そして、そうした工夫は、全ての子どもたちの役に立つ支援でもあるわけです。

本校の支援の方法

集団で一斉に学習をしていて、学習の定着が難しい場合は、

- ①教室にもう一人先生についてもらって補助をしてもらう。
- ②スタディルームで個別に指導してもらう。
- ③時によっては専門の機関を紹介して専門的な指導が受けられるようにする。

出来ないことをなんとかするより、「今出来ること」「今やれること」と「落ち着いて学習できる場」を見つけて、そこで「認められること」が大切だと思います。それを低学年のうちから早くにその子にあった支援を開始することも大切です。そして、何よりクラスの子どもたちがお互いの良さを認めあえることが、大きな支援となります。どの子どもも友達の良さを認められる子になれるようにご協力をお願いします。

こんな人たちが支援しています

- ・ **スクールカウンセラー**（昨年から2名）
子どもたちの様子を観察したり、子どもの悩みに寄り添ったり、保護者と共に支援の仕方考えます。
- ・ **学習支援教員**
教室に補助として入ったり、スタディルームで個別支援をしたりします。
- ・ **臨床心理士**
コミュニケーションの取り方などを教えます。
- ・ **特別支援教育コーディネーター**（2名）
校内の子どもたちの様子を把握し、必要に応じて校内委員会を開いたり、専門機関と連携をとったり、保護者の方と話しながら子どもたちへの支援の仕方考えます。

ご理解の上、ご活用ください!

私たちの方で気になった時には、保護者の方々に声をかけ、相談しながら



支援を進めていますが、ご家庭の方でもご心配なことがあるときには、担任やカウンセラー、コーディネーターにご相談ください。子どもを取り巻く大人たちがお互いに理解し合い、安心できる環境で、子どもたちをのびのび育てたい。それが私たちの願いです。ぜひ、いっしょに考えていきましょう。

12月行事予定

1	月	委員会（卒業アルバム写真撮影）
2	火	野鳥観察会（3～6年） 野鳥観察事後活動（5年）
3	水	ふれあいタイム
4	木	午前授業
5	金	保護者会（1・2・3年）
6	土	土曜クラブ（囲碁・マナーキッズテニス）
7	日	
8	月	クラブ
9	火	保護者会（4・5・6年）
10	水	安全指導 ふれあいタイム
11	木	
12	金	
13	土	土曜授業（内容は下に↓）
14	日	
15	月	避難訓練（10:00～） クラブ
16	火	セーフティ教室（6年・薬物乱用防止）
17	水	ふれあいタイム
18	木	お話会①
19	金	社会科見学（6年） お話会②
20	土	土曜クラブ （アートキッズ・お箸といけ花）
21	日	
22	月	
23	火	天皇誕生日
24	水	給食終了
25	木	大掃除 終業式
26	金	冬季休業日始
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

12月13日

土曜授業内容

- 1年生 凧作り
- 2年生 縄を綯う
- 3年生 豆腐作り
- 4年生 善福寺川調べ
- 5年生 キャリア教育
- 6年生 クリーン運動

冬休み中の校庭開放

平成26年12月29日（月）から
平成27年 1月 3日（土）までの
6日間は、校庭開放はありません。

12月の生活目標

「ものを大切に使おう」

生活指導部 澁谷 あゆみ

先日、3年生の道德の授業で「ふろしき」という資料を読み、みんなで考えました。

まず、子どもたちに「ふろしきって知っている?」と尋ねると、数人の子ども以外知りませんでした。

知っている子にどんなものなのか説明してもらおうと「旅行のとき、洋服を包んでいく布」「泥棒が顔からかぶってる布」「ドラえもんのでてくるタイム風呂敷」という答えが返ってきました。

そこで、資料を読み、私が用意した風呂敷を班に1枚配りました。お重箱や一升瓶も出して、どんなふうに包むか子どもたちに考えてもらいました。

しばらく悩んだ後、包み方を見せると、「へえー、すごい!」と感嘆の声。たちまち、みんないろんなものを包み始めました。

「今の包装紙は、一回か数回しか使えないけれど、何度でも使える」「風呂敷でつつむと中身がとても大切なものを感じる」「どんなものでも、包めて、いらぬ時は、小さく畳めて便利」「日本はこんな便利なものを考え出してすごい」と授業後の感想に書いていました。

「家に帰って、お母さんに自慢しよう!」とうれしそうに帰って行きました。

昔の日本人が知恵を働かせ、ものを大切に使用していたことを知ることのできた時間でした。

※野鳥観察会は、保護者の方も参観できます。ぜひ、善福寺公園に来て、いっしょに野鳥を観察してください。（雨天延期）

日時：12月2日（火）

9:00～12:00



*薬物乱用防止のセーフティー教室も、どの学年の保護者の方でも参観できます。実際に薬物依存から更生された方のお話を聞くことができます。貴重な機会ですので、ぜひお越しください。

日時：12月16日（火）午後1:15～3:00 特活室

新学期始業式の予定

平成27年1月8日（木）
通常の登校時刻です。